

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2890700152		
法人名	有限会社 日本健康管理システム		
事業所名	グループホーム コスモス		
所在地	兵庫県神戸市須磨区須磨浦通6丁目6-29		
自己評価作成日	令和2年8月14日	評価結果市町村受理日	令和2年11月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaiqokensaku.mhlw.go.jp/28/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosoCd=2890700152-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人ば・まる
所在地	堺市堺区三宝町二丁131番地2
訪問調査日	令和2年10月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

国道沿いに立地しているが、近隣に須磨浦公園、鉢伏山があり海と山の自然に囲まれ四季を楽しんで頂ける。また、陽光降り注ぎ冬でも暖かい。食事は職員が手作りをし、出来たての物を提供している。その他、1階のお庭で育てたミニトマトやアスパラガス、サツマイモ等の野菜を職員と一緒に収穫し提供している。行事では、ユニット単独の行事のほか、合同で歌の会やゲーム等を催し、他ユニットの入居者様とも交流が図れるようにしている。
医療連携体制が整っており、緊急時にも主治医、看護師の協力を得ながら安心して生活をして頂けるよう支援している。訪問歯科診療を毎週1回、入居者様全員に受けて頂いており、日頃から口腔内のトラブルがないよう努めている。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然環境に恵まれた立地であり、散歩で海に行くなど、落ち着いた生活を過ごせる環境作りがなされています。医療体制には注力しており、主治医は必要に応じて機動的な往診が行われています。口腔ケアには特に力を入れており、嚥下咀嚼機能の維持を意識し、歯科医師の指導の基、声を出すことで機能維持を行う取組がなされています。コロナ禍での様々な制限はありますが、施設周辺の自然環境を活用した取組など、できることで利用者のストレスがたまらないよう配慮されています。外の空気を吸い活動する一環として、庭での菜園を活用しており、利用者自らが作った野菜を、収穫し、食事に利用する取組が行われており、利用者の楽しみ、気分転換に繋がっています。面会制限に伴い、家族への電話対応を増やし、情報提供に努められています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己 評価	第三者 評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関、各フロアに掲示板に理念を掲げ、ゆっくり、一緒に、楽しい理念のもと、地域の方との交流、日々のケアに活かせるよう努めている。	理念は、生活の場での利用者本位の考えを主体とし、活動機能の維持、生活能力の維持を、意識した支援が目指されています。理念に沿った、おしきせの支援ではなく、利用者自立の考え方に留意した支援がなされています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の情報を収集している。行事にはカードを作成しお誘いしている。また、施設周辺の清掃、お会いした方には、こちらから進んでご挨拶をするよう心掛けている。最近では、近隣の花壇に花を植え付けた事を知らせて下さったり、出来事を教えて頂いている。	地域の自治会とは密接な関係づくりが形成されており、地域の高齢者事情の共有、地域への啓発活動への協力、自治会への参加などが行われております。地域の自然情報の提供など、自治会や地域の方々とは双方向の交流が普段からなされており、地域との繋がりが形成されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会を通して地域の高齢者の現状を把握している。また、自治会でも認知症について議題にあがっており、実際に行っている支援について説明を行っている。運営推進会議の際、認知症の研修についての説明を行った。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営報告、外部評価などの結果等、改善した点を含め報告している。また、運営推進会議で報告された内容を会議などで職員に伝達している。要望や意見は可能な限り運営に反映している。	出席者からの情報提供で、地域の工事事情や、地域の独居問題、認知症啓発活動の推進、など、地域情報共有が行われています。地域活動、啓発活動の推進が、自治会やあんしんすこやかセンターと協働でなされています。防災研修の資料提供を受け、施設内研修に取り入れた事例が確認できました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市及び区の担当者、地域包括支援センターとは連絡をとり、協力関係を築く努力をしている。特に生活支援課の担当の方とは日常的に連絡を取り合っている。	コロナ禍の様々な制限の中、あんしんすこやかセンターとは特に密な連携を行い、地域事情や他施設事情、市の方針の共有などが行われています。自治会とあんしんすこやかセンターとのつなぎ役も担っています。区の福祉担当とは密に連絡を取り、利用者の生活支援に活用されています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は開錠し見守りを行っている。また、年間教育の必須事項として研修を行い、全職員が身体拘束について理解し業務に就いている。月1回、個別評価を行い、入居者様のケアについて話し合い、身体拘束に該当するケアを行っていないか確認している。	職員の研修は計画的に行われています。身体拘束虐待防止委員会が3ヶ月に1回開催され、委員会の内容は全職員が確認されていることが確認できました。安全とのバランスに配慮しながらも、些細な拘束に繋がる行為も極力排除する取組がなされています。薬が結果的に拘束に繋がる事も意識され、利用者の状態に留意した支援が行われています。	

自己評価	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6) ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間教育に取り入れ研修を行い、全職員が虐待について理解し業務に就いている。また、常に不適切なケアが行われていないか検討し、職員間で注意しあえる関係の構築に努めている。	日々の支援や会話が、虐待事案に繋がっていないかを意識し、職員相互でヒヤリハット事案に繋がる前に、疑問に対する対応を行う意識付けがなされています。虐待に関する研修は、計画的に行われています。	
8	(7) ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間教育に取り入れ研修を行っている。入居前においても必要に応じ制度を活用出来るよう支援している。問い合わせがあれば、市民後見人の研修にも協力をしている。	毎年計画的に、利用者の権利擁護に係る職員研修が行われています。権利擁護を踏まえた利用者の状況を、家族等に伝達されています。	
9	(8) ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前の面接で十分に話し合い、質問や疑問点について説明しご理解頂けるよう努め、ご入居の判断に役立てて頂いている。	契約前に、十分な説明を行い、疑問点等を解消した上で、契約に至っています。終末期等、別途説明同意が必要な事項についても、ご家族等がご理解頂けるまで、丁寧な説明が心がけられています。	
10	(9) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	受付にご意見箱を設置している。3か月に1度、ケアプランの更新月にご連絡し、ケアプランについての意向に合わせて、ご意見、ご要望等ないか伺っている。また、運営推進会議に、入居者様、家族様、自治会の方に参加していただき、ご意見、ご要望を伺っている。運営推進会議の議事録を家族様に送付している。	利用者の楽しみや気分転換になる行事行動の希望を踏まえ、菜園への取組につながり、利用者も楽しみや活動、話題が増えた事例が確認できました。	コロナ禍の様々な制限下で、ご家族等へは従前以上の情報提供の拡充を行う事が望まれます。
11	(10) ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見や提案は随時聞くようにしている。内容によりユニット会議で精査し、必要であれば管理者会議で報告し組織全体で把握するよう努めている。	職員からの意見から検討し、ユニット間での人員配置交流の取組がなされ、それによって、職員間に新たな業務の気付きや改善に繋がっている事例が確認できました。	
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員との関係の構築し、忌憚のない意見が言えるように努めている。また、ユニット会議等で意見を吸い上げ管理者会議にて代表者に報告し、職員が働きやすい環境整備や、勤務時条件などの整備に努めている。		
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修などのお知らせを回覧し、希望する研修があれば勤務調整を行っている。また、内部ではケアの質、力不足がみられた場合、その都度指導を行い、知識や技術を身に付けるようにしている。		

自己評価 実践状況	項目	外部評価		
		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
	<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会などで交流をもち、他施設での状況を知り、知り得た情報を伝達する事によって、ケアの向上に活かせるよう努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
	<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の面談の際、本人様や家族様からお話を伺い、習慣や嗜好などを把握し、入居にあたっての不安が解消されるよう信頼関係の構築に努めている。</p>		
	<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の面談の際、入居の判断材料として必要経費やサービスについて説明している。また、本人様のニーズや家族様の思いを探究し、サービスに繋げるよう努めている。</p>		
	<p>○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前の面談の際、本人様の出来る事、出来ない事、要望等をお聞きし、ニーズがどこに求められているのかを見極めるよう努めている。段階的にニーズの見直しを行っている。</p>		
	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ゆっくり、一緒に、楽しくの理念に基づき、終の棲家として過ごして頂けるよう努めている。また、家族のような対応が出来るよう入居者様を深く知るよう努力している。</p>		
	<p>○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>来訪時には必ず日常の入居者様のご様子を報告し、何かあれば電話連絡をしている。また、毎月、近況報告としてお手紙を送付し、家族様と職員が共に入居者様を支える関係が築けるよう努めている。</p>		
	<p>(11) ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居前に家族様に面会に来られる知人の方がおられるかお聞きし、お名前等の確認を行っている。入居者様の歴史を把握し日常の会話に取り入れている、家族様や親戚の方のお名前や、お住まいなどを把握し会話に盛り込むように努めている。</p>	<p>直接行動が制限される中で、手紙を促進したり、利用者との日常会話の中で馴染みの人や場所を織り交ぜるなど、関係が途切れることを防ぐ取組がなされています。</p>	

自己評価 実践状況	項目	外部評価	
		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	家事等の日課や行事の準備等、入居者様同士が協力しながら関わり合えるよう支援している。個々の性格や相性等を検討し座席などに気配りをしている。	
	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も必要に応じ、家族様や退去先の関係者と連携をとりながらフォローしている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
	(12) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中から、本人様の思いや要望を汲み取れるよう努めている。意思疎通が難しい方については、家族様から情報を収集、表情や行動から汲み取り検討している。	日々の会話や対応の中で聞き取ったり気付いたりしたことを基に、利用者のアセスメント情報、基礎情報を更新し、計画の立案や支援に反映されています。
	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人様、家族様、ケアマネジャーより情報収集に努めている。また、日々の会話の中に、生活歴等に繋がる話があれば職員間で共有している。	
	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で出来る事、出来ない事を見極め、お手伝いをして頂くよう努めている。	
	(13) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議やカンファレンスを開催し意見交換を行っている。また、家族様や主治医など関係者と話し合い、本人様にとって、現状に即した介護計画を作成するよう努めている。	毎月、利用者個々の個別評価を行い、計画策定時にはサービス担当者会議を開催し、関係職員等が話し合った上で、計画が策定されています。
	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子に変化があれば、口頭や申し送りノート等で情報の共有を行っている。また、毎月個別評価を行い介護計画の見直しに役立っている。	書類体系を整理し、体系化、効率化を図ることで、さらなる支援の質の向上に繋がるかと思われます。

自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容	
			項目
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様や家族様の状態や状況に応じ、求められる事には可能な限り対応出来るよう努めている。	
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩や施設周辺の清掃の時に声を掛けて頂いたり、地域の活動に参加出来るよう運営推進会議や掲示板等、自治会を通して地域の情報収集を行っている。	
30 (14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の面談の際、主治医、訪問診療について説明し、契約時に希望を伺っている。必要に応じ専門医への受診の支援を行っている。	本人及び家族の希望を第一にかかりつけ医を選定して頂いています。施設の主治医は、時間外でも往診対応可能であることから、大半の利用者が施設主治医を選択されています。
31	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	緊急連絡体制に基づき24時間対応出来るようにしている。定期的な看護師の訪問があり、情報の提供や相談を行っている。	
32 (15)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、入院までの経過や本人様の情報を医療機関にお伝えしている。主治医にも連絡をとり、必要に応じ情報を提供していただいている。入院中は家族様の同意を得、お見舞いに伺った際、看護師から情報収集している。また、家族様と連絡を密にとり情報を収集、速やかに退院支援が行えるよう地域連携に働きかけている。	施設主治医による紹介状や医療情報の提供、入院時の介護サマリー、退院時の退院調整会議での情報連携、などの取組が行われています。
33 (16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居前の面談、契約時に説明を行い、お元気なうちに終末期について考えて頂くようお伝えしている。終末期を迎えられた際、再度、本人様の意向を家族様、主治医と話し合い支援を行っている。	入居前の面談では、重度化、終末期に関する、説明が行われ、同意が得られています。終末期は、主治医の指示を基に、家族等の意見意向も踏まえた終末期ケアの計画策定がなされています。
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルの確認、年間教育に緊急時の対応を取り入れ対応出来るよう努めている。	

自己評価 実践状況	外部評価	
	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35 (17) ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練、毎年9月に防災訓練を行い、災害時の対応や避難誘導を行っている。研修に合わせて備蓄の確認、再度、懐中電灯等の保管場所の確認を行っている。運営推進会議、自治会の総会を通して地域の方への協力を呼び掛けている。	地域の自治会と災害時に関する協力体制の必要性が話し合わせ、地域との双方向協力の話し合いが行われています。非常用の水食料用意を各利用者毎に用意し、SOSカードと共に備蓄的に保管されています。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
36 (18) ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人権擁護等の研修を通し人格を尊重した支援を学ぶと共に、お一人お一人の自尊心を大切に個々のプライバシーを損ねない支援に努めている。	利用者個々の話や意向等は、利用者の居室で行うなどの配慮がなされています。
37 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が思いや希望を表しやすいよう日頃より言葉かけに気をつけ、自己決定が出来るよう働きかけている。	
38 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースに合わせたお声掛けを行い、体調などを確認しながら、日課の体操やお茶、入浴等のお声掛けを行っている。	
39 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服はそれぞれ季節にあったものを一緒に選んでいる。2ヶ月毎に訪問理容に来て頂き好みの髪型にして頂いている。	
40 (19) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の出来る事に応じ、もやしの根取りやテーブル拭き、食器洗いや、食器拭きなどして頂いている。庭で出来た野菜と一緒に収穫し提供している。お茶や、おみそ汁など好みの温度で提供出来るよう努めている。	利用者のできる事、得意な事に応じた役割分担で、食事の準備、配膳、片付けなどが行われています。利用者が自分たちで取り組んでいる菜園での野菜作り等が、食べる楽しみ、作る楽しみ、につながっています。
41 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量をチェック表に記載し把握している。食事量の減少が見られる時は、本人様の食べやすい形態に変更している。形態を変更しても食事量が増えず、体重の減少が見られる時は主治医に相談し対応している。	

自己評価 実践状況	外部評価	
	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<p>42</p> <p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後の口腔ケア支援に加え、週に1回の歯科往診があり、口腔内及び義歯の清掃が行われている。また、毎月、歯科医より指示書を頂き、支援に繋げている。</p>	
<p>43 (20)</p> <p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>自尊心に配慮し、入居者様の様子から、お一人お一人のサインの把握や、排泄チェック表をもとに個別の排泄ケアを行っている。</p>	<p>排泄の自立維持を心がけた支援が提供されています。排泄チェック表により、状態の確認が行われ、適切な誘導や支援方法の変更等に繋がられています。誘導などは、プライバシーに配慮した声かけや移動などがなされています。</p>
<p>44</p> <p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分、食事の摂取量を把握し、排泄チェック表を確認しながら温電法や運動を行っている。改善がみられない時は主治医に相談、原因や影響を理解し段階的にお薬の調整をして頂いている。</p>	
<p>45 (21)</p> <p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>入浴予定を組んでいるが、当日の体調や清潔保持のため時間の調整を行っている。</p>	<p>利用者の要望や状態に応じた回数、時間帯での、入浴支援が行われています。入浴の意欲が出ない利用者には、無理強いするのではなく、複数職員で対応や時間帯、日などを変えるなどして、利用者の意思で入浴に繋がる支援が行われています。</p>
<p>46</p> <p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>お一人お一人のペースを大切に、室温調節を行い、寛いで頂けるよう環境づくりに努めている。居室で過ごされる際は定期的に訪室し安否確認を行っている。</p>	
<p>47</p> <p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>主治医、薬剤師、看護師の協力を得ながら処方されている薬を理解するよう努めている。服薬時には事故のないよう注意をはらい、症状の変化があれば主治医へ報告している。薬剤情報は各ユニットで保管し、常に確認が出来るようにしている。</p>	
<p>48</p> <p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居時に生活歴や嗜好品などを伺い、ご意向に沿えるよう努めている。食事の準備や後片付け、行事の際の準備などのお手伝いをして頂き、都度、お礼の言葉を述べている。また、外気浴や歌の会、行事に参加する事で気分転換を図って頂いている。</p>	

自己評価	項目	自己評価 実践状況	外部評価	
			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49 (22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族様と外出される方もおられ、その際、介助が必要であればお手伝いをしている。体調や天候にも左右されるが、散歩や外気浴が出来るよう努めている。	コロナ禍の様々な制限は避けられないが、施設前の海辺、施設の庭、等可能な範囲での外出を意識した支援が行われています。家族との積極的な外出も行われていましたが、現在は自粛されているようです。	
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人様や家族様の意向でお金を所持されている方もいらっしゃる。必要な物があれば、お預かりしているお小遣いから家族様に許可を得て購入している。購入した物については、用途を明確にし毎月、家族様にお小遣い報告書を送付している。また、施設内の自動販売機で自由に購入できるよう支援している。		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様からのお手紙はすぐに本人様に手渡している。知人の方からお手紙を頂いたときは家族様に連絡をとり、許可を得て本人様に手渡している。また、家族様からの電話の取り次ぎも行っている。		
52 (23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事の際、装飾を行い季節感を感じて頂いている。本人様に確認をとりながら、居室の換気、温度調整を行っている。共用部では、日中、感染症対策も含め、細目に換気を行い、カーテンや電気等で光の調整を行っている。また、施設特有の匂いがしないよう気を付けている。	換気や採光の調整に留意し、居心地の良い環境作りが行われています。共有のトイレや浴室は清潔に保たれ、利用者が迷うことがないような表示の工夫がなされています。季節に合わせた装飾品が職員や利用者の手作りで用意され、用いられています。	
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様の関係性を考慮し、居心地の良い空間となるよう座席など工夫している。また、様子観察し必要に応じ、席替えをしている。		
54 (24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に普段から使い慣れたものや、筆筒、衣類、仏壇等を持って来て頂き、馴染みのもに囲まれ落ち着いた生活を送って頂けるよう努めている。	可能な範囲で持込に制限はなく、利用者思い思いの品が居室に持ち込まれています。安全性の配慮から、設置することで災害時等危険が生じる可能性があるものの持込は避けられています。温度調整は、職員が補助し、利用者自身で調整できない場合には、こまめな温度湿度のチェックによる支援が行われています。	
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日常的にはベランダでの外気浴や、花壇の水やり、野菜の収穫で外気に触れる機会を作っている。また、お一人お一人の出来る事、分かる事を把握し、それらを活かすよう努めている。		